

2019年9月25日

新生「東急電鉄」による鉄軌道事業10月1日開始

～美しい生活環境の創造に向けた事業方針を策定～

東急電鉄株式会社

当社は、東急株式会社の会社分割により、10月1日から、鉄軌道事業の運営を開始します。このたび、東急株式会社「長期経営構想」の策定を受け、当社が今後2030年に向けて目指すところや、取り組みの方向性を取りまとめた事業方針（以下、本方針）を策定しました。

本方針に基づき、当社は、東急グループの存在理念である「美しい生活環境を創造し、調和ある社会と一人ひとりの幸せを追求する」のもと、安全・安心・快適な鉄道サービスをさらに磨き、お客さまや地域社会との信頼関係の中で、一人ひとりの幸せを運び続ける存在となることを目指します。

当社は、鉄道事業会社としてその専門性を一層高め、人材育成や技術革新に取り組み「人材力・技術力」を強化し、さらに安全で強靱な鉄道を目指します。また、お客さまに最も近い「現場」に経営の重きを置き、各路線の特性に合わせたきめ細かい施策展開を行うとともに、スピード感のある経営体制を実現していきます。

また、毎日3百万人を超えるお客さまにご利用いただく東急グループの基幹事業として、お客さま安全設備の積極整備や自社起因の輸送障害の減少による安全・安定輸送の確保、輸送力強化やオフピーク促進施策による混雑緩和、さらなる遅延抑止策の検討、および多様なお客さまニーズへの対応による快適性の向上に努めます。

さらに、将来的な鉄道ネットワークの拡充などによる利便性向上、グループ内の各事業や地域の方々などと連携した駅周辺の街づくりなど、長期的思考で未来を見据えた事業展開を行い、さらなる事業成長を図っていきます。

東急線沿線は、今後15年以上にわたって人口の増加が予測され、また、東急新横浜線や新空港線などのネットワーク拡充も予定しており、今後も鉄軌道事業としてのさらなる成長が見込まれる沿線です。

当社は、今後も、安全・安心・快適な鉄道サービスをさらに磨き、未来に向けた美しい生活環境の創造に貢献していきます。

本方針の概要は別紙の通りです。

以 上

新生「東急電鉄」による鉄軌道事業10月1日開始
～美しい生活環境の創造に向けた事業方針を策定～

『別紙』資料

鉄道事業における安全性の追求、公益性と収益性の高次元での両立

- 分社化により人材力・技術力を高め、安全・安心・混雑緩和などの快適性を追求する
- ネットワーク拡大等によりさらなる事業成長を目指し、基幹事業として今後も連結利益の中心を担う

インフラ強化によるネットワーク機能向上



鉄道ネットワークの拡大（新線への直通運転）



池上駅改良
駅、高架下等改良による街の魅力向上



車両増備による輸送力増強

人材育成・技術革新によるオペレーションの高度化



運転の省力化
(ワンマン・自動運転)



駅利用体験の変革
(ゲートレス・キャッシュレス)



保守業務の効率化
(CBM等)



教育・キャリア制度の改革
(安全教育センター)

※CBM (Condition Based Maintenance)
設備を常時監視し、故障の兆候が見られた時点で更新する考え方

新生「東急電鉄」 設立意義

変えるもの

- ① 専門性を一層高め、「人材力・技術力」強化
- ② 現場に近いところに経営の重きを置く
- ③ スピード感のある経営体制

変えないもの

- ① 中核性 ② 共創性 ③ 先進性

「人材力・技術力の強化」

人材力

考える力

お客さま視点での課題認識
柔軟な発想

実現する力

高い専門性
機会・環境の充実



技術力

革新

先端テクノロジーへの知見
業界動向への高い感度

伝承

鉄道技術を磨き上げる
お客さま視点での課題認識

教育の充実

訓練・競技会

組織改正

教育施設の新設



技能競技会



地下区間の訓練



様々な研修



働き方



システムの積極的活用

LED蛍光灯
一体型車内
防犯カメラ

技術ソリューションの展開

- ・技術戦略部の新設
 - ・車両部の新設
- ※ 2019年4月1日実施



「現場に重点」を置く「スピード感」のある経営体制

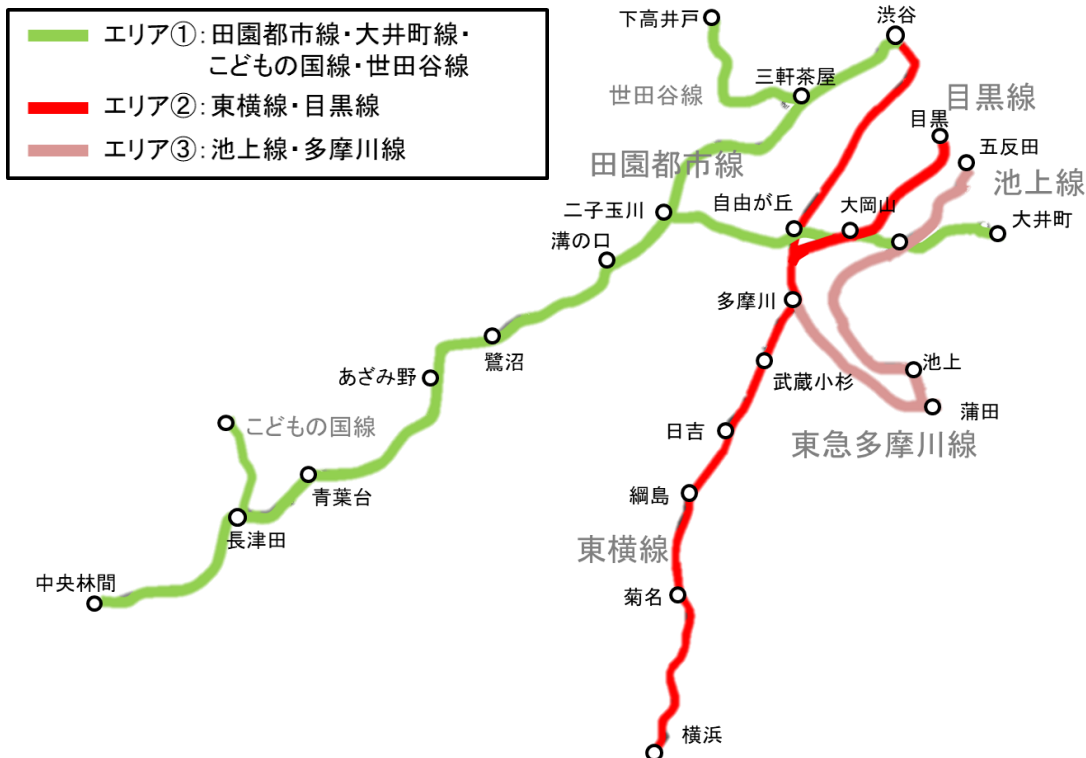
エリア制の導入

エリア単位での
経営と現場の密な連携

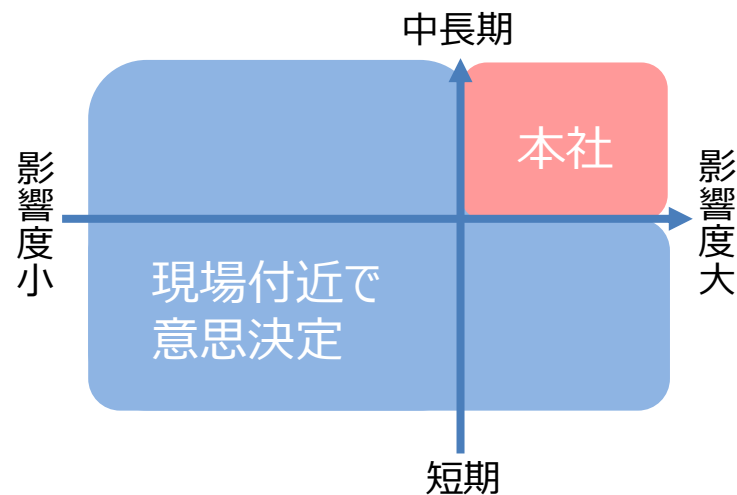


エリアの特性に合わせた
きめ細かい施策

お客さまに最も近い
“現場”に経営の重き
を置く



意思決定の基本姿勢

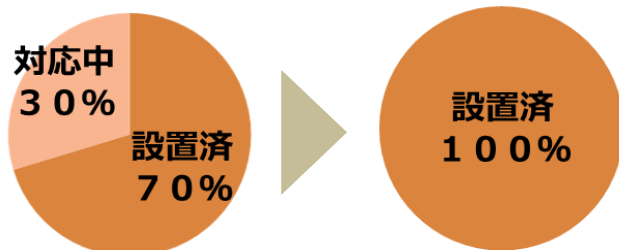


<安全・安心> より安全・より強靱な鉄道へ

～お客さま安全設備の積極整備(駅・車内・踏切)～

駅の安全(ホームドア)

田園都市線・大井町線・東横線の
全64駅に整備



平成30年度末

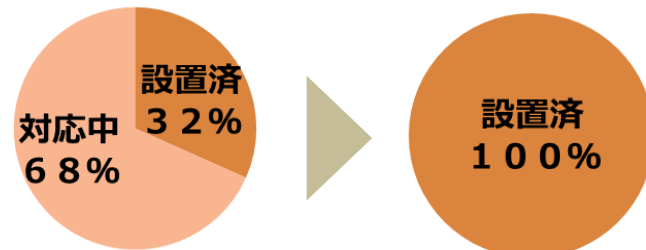
令和元年度末



民鉄初ホームドア・固定式
ホーム柵100%設置告知

車内の安全(防犯カメラ)

今年度は10編成92両へ設置予定



平成30年度末

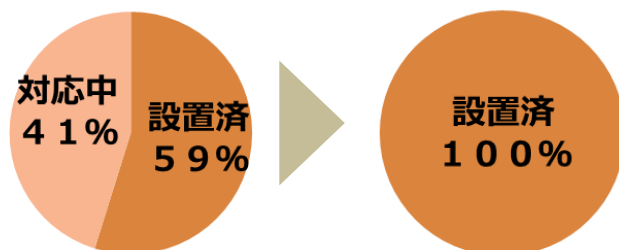
令和2年度上期(予定)



<防犯カメラ>

踏切の安全(3D式障害物検知装置)

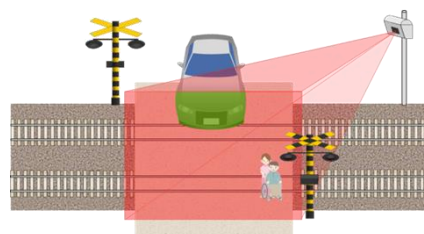
今年度は21箇所へ設置予定



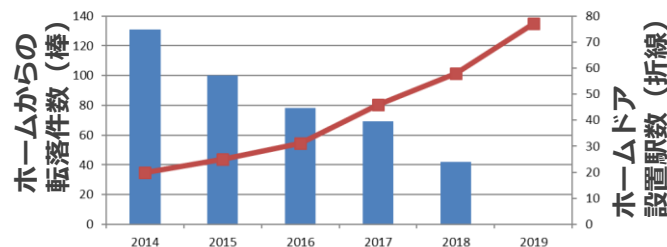
平成30年度末

令和3年度末(予定)

◆ 3D式踏切障害物検知装置



■ ホームからの転落件数とホームドア設置状況



お客さまの安全を第一に積極的な安全対策を推進

<安全・安心> より安全・より強靱な鉄道へ

～田園都市線を中心とした安全・安定輸送の追求～

未然防止策



① 影響度が大きい田園都市線地下区間の設備更新

- ・ 電ケーブル短絡防止工事
- ・ 電車線調整器（バネバランサー）更新工事
- ・ 建築設備（消防設備、排煙設備）等の老朽更新 他

② 日常検査の強化・効率実施

③ お客さま安全設備の積極整備（ホームドアほか）

④ 田園都市線旧型車両8500系更新（2022年度完了予定）

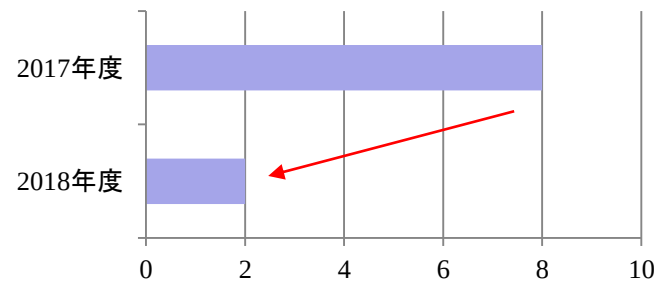
体制強化

■ 異常時対応力の強化

- ・ 早期復旧に向けた人員の分散配置
- ・ 24時間体制の整備（本社部門含む）

■ 技術系現場の業務効率改善・現場間連携強化

- ・ 技術部門同士の連携強化（社内アカデミーほか）
- ・ 運転運輸現業との連動



田園都市線における設備故障件数
(国土交通省への届出事数)

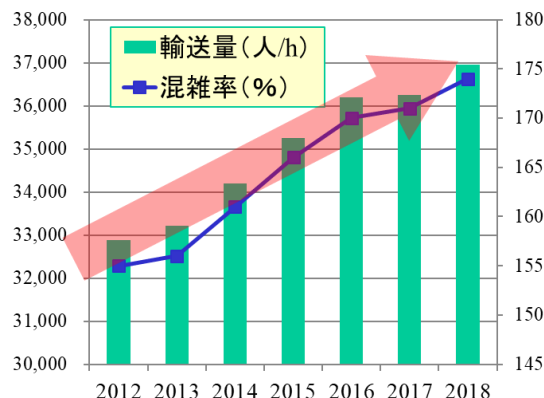
自社起因の輸送障害を徹底減少させ、安全・安定輸送を図る

<安定> 混雑緩和・遅延抑止

～輸送力強化(輸送ニーズ対応)および輸送量分散の推進～

輸送力強化(目黒線8両化)

2022年度下期東急新横浜線開業までに
当社保有全26編成を8両化完了予定



目黒線3020系

混雑ピークのシフト

- ・ 早朝臨時列車の定常運転化検討
(田園都市線「時差BIZライナー」・東横線「時差BIZ特急」)
- ・ オフピーク促進施策の継続推進



田園都市線
時差BIZライナー



オフピーク促進施策告知ポスター
「グッチョイクーポン」「バスも! キャンペーン」

更なる遅延抑止策の検討

更なるバリアフリー化促進

- ・ 次世代保安装置の検証
- ・ 田園都市線渋谷駅の改良検討
- ・ 2ルート目エレベータの整備促進
- ・ エスカレータの整備促進

<快適> 快適性・サービス強化

快適性のさらなる追求



夕刻下り列車増発



有料着席列車の他路線拡大検討

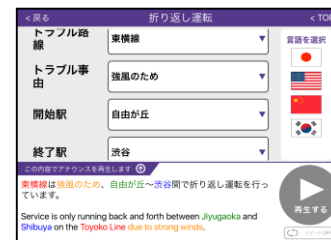


木になるリニューアル



トイレ洋式化・温水洗浄便座
設置100%へ

お客さまニーズ多様化へのきめ細やかな対応



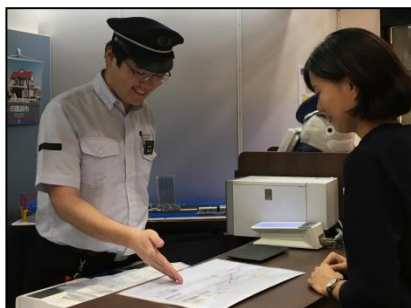
「おもてなしガイド」
(iPadによる多言語案内)



駅利用体験の変革
(ゲートレス・キャッシュレス)

サービス力の強化

接客サービス、施設・設備のさらなる進化



接客サービスの更なる強化



システム導入によるサービス品質向上
(自動運転など)



新技術を活用した保守・安全レベル維持向上 (CBM等)

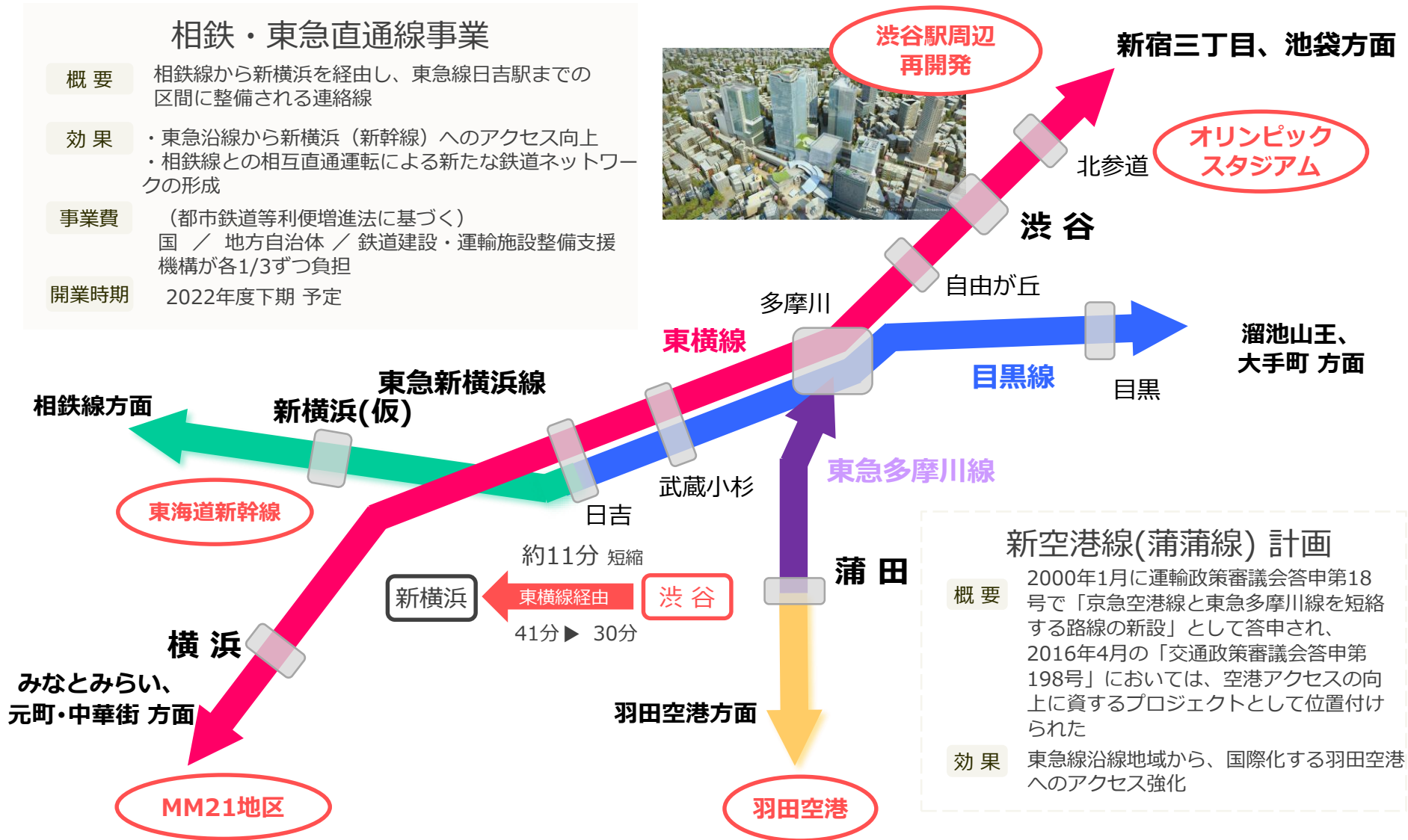


車両の状態監視

<成長> 鉄道ネットワークの拡大・強化 ～移動ニーズへのさらなる対応～

相鉄・東急直通線事業

概要	相鉄線から新横浜を経由し、東急線日吉駅までの区間に整備される連絡線
効果	- 東急沿線から新横浜（新幹線）へのアクセス向上 - 相鉄線との相互直通運転による新たな鉄道ネットワークの形成
事業費	（都市鉄道等利便増進法に基づく） 国 / 地方自治体 / 鉄道建設・運輸施設整備支援機構が各1/3ずつ負担
開業時期	2022年度下期 予定



新空港線(蒲蒲線) 計画

概要 2000年1月に運輸政策審議会答申第18号で「京急空港線と東急多摩川線を短絡する路線の新設」として答申され、2016年4月の「交通政策審議会答申第198号」においては、空港アクセスの向上に資するプロジェクトとして位置付けられた

効果 東急線沿線地域から、国際化する羽田空港へのアクセス強化

<成長> 駅・街連携の強化

駅と街の一体開発

駅周辺街づくり連携の継続推進



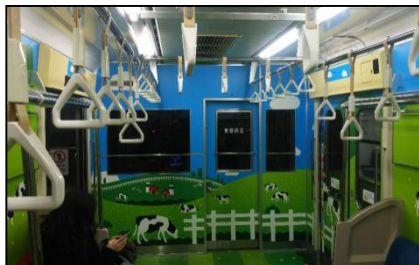
南町田駅改修工事完成イメージパース
※10/1より「南町田グランベリーパーク駅」に駅名変更



池上駅改良工事
完成イメージ

地域連携イベント

地域連携施策のさらなる強化



うしでんしゃ（こどもの国線）



幸せの猫電車（世田谷線）



池上線プロモーション



駅納涼祭（青葉台駅）

新生「東急電鉄」の目指すもの

■東急グループの存在理念

美しい生活環境を創造し、調和ある社会と
一人ひとりの幸せを追求する

■新生「東急電鉄」の目指すもの

新生東急電鉄 スローガン 『人へ、街へ、未来へ。』

3つのポリシー

〔 お客さま 〕

笑顔をつなぎ、
幸せを運ぶ鉄道

〔 従業員 〕

強く、優しく、しなやかに、
未来へ走る鉄道

〔 会社のありよう 〕

日本一の街の
日本一の鉄道

以 上